

# LETTERS FROM NOWHER

## SSK

むかうのさとつうしん  
社会福祉法人上州水土舎  
LETTERS FROM NOWHERE  
知的障害者授産施設水土舎  
2021年11月27日

# 無何有郷通信

## 通巻31号



## お歳暮特集号

- ◇妾の半生 奥戸蓮リリィ(水土舎利用者)
- ◇来し方行く末 2021年 水土舎事務
- ◇水土舎絵画展パンフレット 富岡市役所 エントランス・ロビー 12月3日～9日







上州牛のハンバーグ



水土舎のジャム三種



水土舎の平飼有精卵

# 赤城屋

Akagi-ya Wurst Ham

Der Metzgerei aus München nach Akagiya

Weiße Rose/Rote Burg

富岡市後賀723-7

Phone 0274-64-1254 / E-mail akagi-ya@xp.wind.jp

**黒毛和牛本来のやわらかさと芳醇な風味を塩釜に閉じ込めた逸品です。**

**塩釜焼き**  
ローストビーフ

赤城屋 黒毛和牛 塩釜焼モモ肉ローストビーフ 210g、450g  
赤城屋 上州牛 塩釜焼モモ肉ローストビーフ 200g、300g、400g

## 群馬県産 上州牛モモ肉の大きなハンバーグ

上州牛のジューシーな旨味と濃厚な味わい深さが凝集されています。

赤城屋 上州牛モモ肉100%と玉ねぎだけで作りました 160g×6個、160g×4個

群馬県産

## 上州黒毛和牛サーロイン・ローストビーフ

口の中でとろける旨味と芳醇な味わいをご堪能下さい。

赤城屋 黒毛和牛 サーロインローストビーフ 200g、300g、400g

群馬県産

## 黒毛和牛モモ肉ローストビーフ

やわらかな肉質と肉に閉じ込められた旨味をご堪能下さい。

赤城屋 黒毛和牛 モモ肉 200g、300g、400g

群馬県産

## 上州牛モモ肉ローストビーフ

人気のローストビーフです。ジューシーな旨味をご賞味下さい。

赤城屋 上州牛 モモ肉 200g、300g、400g







麦茶やポカリスエットを飲んで水分補給をします。以前は、ブルーベリージャムもつくりました。あとは、お中元やお歳暮のときにハム・ソーセージの人たちが忙しいときは、赤城屋の箱をくみたてて、箱をつくりまします。

#### ■色んなことに気づく場所■

水土舎にしていると、自分が今まで気付かなかったことも気づくことがあります。

『人を大切にすること』、『人に迷惑をかけること』、『ウソをつかないこと』、『カップライをしないこと』とか、学ぶことが多いかも知れません。これからも学ぶことが多いかも知れません。この職場に出逢えて良かった。私の人生の中で、当たりかも知れないです。ここまで続くことが他にあるかと考えたらず、自信を持って『あります』なんて言えないです。ウソでも言えない気がします。たぶん、違う施設とか職場だったら、十〜二十年は続かないと思います。頑張っても無理！

ホームの部屋は広く10畳くらいあります。それに結構自由な気がします。旅行も二年に一回は四泊五日の旅に出ます。それも二年間毎月四千円の工賃をためたお金で行きます。

水土舎は自由だし、

酒、タバコも吸えるし飲めます。海外とか行ける所までは行きたいです。本当に普通に行けるって良いことだと思います。

自転車で出かけたときは、出かけられます。私は土曜日仕事



をしているので、日曜日に出かけることができます。

水土舎のイベントもおもしろいです。みんなと一緒に参加したイベントは思い出に残ります。私は、皆といると時間を忘れるほど楽しいから。こんなに皆と一緒にいることがうれし、楽しいことなんて高校以来かもしれないです。

#### ■水土舎は大家族■

たまに水土舎やホームでトラブルとかあるけど、でも私にとっては家族なんです。大家族って良くない？ 年上もいて年下もいます。ホームで生まれた子もいます。すすくと育ち小学校二年生になりました。

年齢も違っているし、個性的な人が多くて、私は良い関係だと改めて思っています。

世話人さんは母親代わりで、職員さんは職場の先輩でもあり、人生の先輩でもあると思っています。親方は父親代わり。皆のお父さんの存在です。一生けんめい向き合おうとしてくれる、そんな人です。

親方の存在がなかったら、私は橋の下で生活していたかも。今頃はホームレスかもしれない。十年続けてこられたから良かったです。

■ 大事な仲間の死をのりこえて ■

去年の十一月十七日は、私たちにとつて大ショックな日でした。水土舎の仲間だったS子さんが



亡くなったのです。がんでした。現実が受け止めきれなかったのは私だけではありませんでした。皆もそうでした。お葬式の時も泣きそうになり、『こんな残酷なこと無い』と思いました。ずっと「何で？」としか思いませんでした。

いつ仲間が、いつどこで亡くなるとか怖くなります。水土舎やホームの仲間達を失いたくないです。

どんなにトラブルがあってもケンカしても、向き合えなくても信じられなくても、裏切りがあっても、

私は大事な人達を、なくなってもいいやとか、そういう思いませ



ん。

まず私が思うのは皆元気でいてほしい。どんなにその人がイヤな人でも元気でいれたいと思います。病気になんてならないでほしいです。

■ 大事な仲間の死をのりこえて ■

お金を稼ぐのは簡単です。物も、壊れたとしても直せます（直せないものもあるけど）。でもいちばんなおせなくて無理なのは命です。お金より命だと私は思います。

世間では、自殺、殺人事件がスツゴクあります。私は人を殺すことが理解できません。ニュースを見ていると、殺して何か変わるのか？ 犯人は何を苦しめて殺すことを決めたのか？ 不思議で仕方ないんです。自殺もそうです。ストレスがあっても当然。生きづらいののは誰もあります。苦しい、辛い、もう無理っていうのも私にもありました。でも大事な仲間が亡くなってからその人の死をむだにしちゃダメだと思い、リストカット、根性焼きとかやらなくなりました。

私も自殺を何度もやろうとしました、自分の病気（障がい）でイヤになり色々生きていくのがしんどくなって、何度も死のうと思

いました。でもその考えは止めました。

何故かと思うと、皆がいるから支えてくれるからです。

私を必要として

くれる人が水土舎の仲間がいるからです。皆障害を持っていて。それを理由にして自殺なんてしたくない。何かのきっかけで病気になる人もいるから。生きたいのに生きられない人がいる。S子みたいに。

若いのに生きたいのに生きられない、その辛さが、きつさが痛いほどわかります。後悔もあると思います。やりたかったこともたくさんあったと思います。皆と旅行とイベント行きたかったと思います。皆とまた一緒に楽しく過ごしたかったと思います。私はそう思います。

そのためにはS子の分まで生きることです。どんなに辛くても苦しい事があっても、全力で生きる事が幸ちゃんの死をムダにしないためでもあります。







★ ★ ★ ★

私は、これからの人生、水土舎で過ごしたいと思います。今いる人達を大切にしたい。何かあったら支えたい。そう思います。

私は水土舎の皆が本当に大好きなんです。

毎日が幸せです。毎日が楽しいです。楽しいから怖くなることもあります。皆が支えてくれたり助けてくれたりしてくれるから生きたいと思います。

私がここまで続けられたのは皆がこころよく受け入れてくれて、協力をしてくれたから。感謝しかありません。



## 二〇二一年の水土舎の行事を

### 振り返って

水土舎事務方

今年も「クリスマス・年越しそば・お正月」の季節になりました。昨年に引き続き、今年も、新型コロナウイルスに神経をとがらせた一年でした。今年の水土舎の主な行事は次のとおりです。

### ■成人式

今年も二名の成人が誕生しました。招待客無しでの成人式になってしまいました。が、それなりに盛大に行いました。



### ■春の田植え祭り

水土舎の春の田植え祭りは、昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染予防のため、六月三十日に水土舎（通所多機能型施設）とムゲン（通所生活介護施設）の利用者さんとそのご父兄、職員で執り行いました。

例年であれば、(株)Hー、地域住民、保護



者会の皆様に参加いただき開催してきましたが、昨年同様、今年も水土舎関係者のみで行いました。来年こそは、にぎやかな田植え祭りになればと期待しています。

### ■夏のブルーベリー狩り

夏になると、水土舎ではブルーベリーの摘果が最盛

期を迎えます。

今年も、七月二十四日と三十一日に、父兄会でブルーベリー狩りを開催しました。また、八月十三日と二十三日には、放課後等デイサービス・カラフル甘楽様の児童・生徒と教員・指導員等がご参加してくださいました。

### ■ブルーベリー苗木の移植

水土舎では、前橋市の篤志家の方から農地を寄附していただきました。ご厚意に感謝申し上げます。

今年はその農地に、富岡のブルーベリーの苗木を移植する作業をしました。徐々にブルーベリーの木が成長し、地域の人にも親しん

でもらえるブルーベリー園になればと考えています。

■秋の稲刈り祭り

今年の秋の稲刈り祭りは、十月二十日に開催しました。

春の田植え祭りと同様に、水土舎とムゲンの利用

者さんとそのご父兄、職員で実施しました。

この日は餅つき大会も行い、父兄の皆さん

がおいしいあんこもちをつくってくださいま

した。給食室が愛情込めてつくったカレーと

一緒に、みんなで楽しい 食事を

開催しました。十一月

二十四



した。わずかの成果ですが、無農薬のお米がとれました。

■クロスカントリー駅伝への参加

今年は十一月二十八日に、富岡市クロスカントリー駅伝競走大会に参加しました。このクロスカントリーに向けて、水土舎では前橋の利用者さんにも参加してもらい、選考会を開催し、出場選手を選抜しました。世話人さんの手作りおにぎり弁当を持参し、参加者全員が頑張ってくれました。結果は17チーム中14位、最下位でなかったことが、驚きです。

■水土舎絵画展

富岡市役所エントランス・ロビーで12月3日から9日まで開催中。平成30年に制定された障がい者文化芸術推進法を基調に据えた、行政サイドの画期的な試みと評価できます。今後、この試みが他の市町村にも波及して



くれることを期待して止みません。

■クリスマス会&納会

年末の十二月二十九日には、毎年恒例のクリスマス会&納会を開催する予定です。二〇二一年最後の行事です。

父兄の皆さんがつくってくれるケーキと、給食室がつくってくれるごちそうを食べながら、二〇二一年を振り返り、二〇二二年の抱負を語り合いたいと思います。

■成人式

来年の1月8日 新たに成人式が 举行されます 新成人は4名 です。おめでとう。



